

**事業所名** グループホームきびの里  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年 8月 5日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 生活指導員  
資格・経験 介護支援専門員、ホームヘルパー2級、社会福祉主事、訪問介護員  
B: 現職 介護支援専門員  
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b> ○認知症介護と医療の融合を大切にしている。「ほのぼの のんびり きびの里」のキャッチフレーズのように、ゆったり過せる空間と時間を保持できるよう、管理者・スタッフ全員が心がけ、入居者と家族に信頼と安心を与える心のケアを目標としている。 ○医療機関との緊密な連携により、急病または重度化の場合も必ず適切に対応して、入居者、家族に安心と寛ぎを確保することを目指している。 ○個人データを細かく記録し、安全・安心のサービスの向上に努めている。スケジュールの無いその人らしい自然な生活の中で出来ることを引き出し、共に暮らしを楽しむケアサービスの創意工夫を心がけている。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<b>入居者が暮ら着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b> ○入居者の個性や人格を尊重し、常に笑顔を忘れずに接している。 ○生活スタイルの継続を心がけ、得意な分野・好きなこと(農業・干切り絵・琴・歌)などを共にしながら、信頼関係を深めることに努めている。 ○玄関ポーチや庭のベンチ、椅子に座って外気に触れ、四季の移り変わりを楽しんでもらっている。寄り添い見守りながら、落ち着きと安らぎの場作りに取り組んでいる。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重		○
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○グループホームきびの里は、JR藤原駅より徒歩10分、バス停からも5分の所にある。短大、中学の校庭に隣接しており、玄関正面には水田、近くには神社がある。歩いて2分ほどの所には大きなスーパーがあり、買い物も自由に楽しめる。

○医療機関が近くにあり、密接な提携の基に緊急時等あらゆる事態に迅速に対応できる体制になっており、安心して入居生活が送れる。また、医療機関でのリハビリを利用することで、残存能力の維持向上に繋げている。

○2ユニットそれぞれに特色を持たせることで、入居者の選択の幅を広げ、個性を大切にしている。

○玄関は明るく、開放されている。フェンスは低めに設置されており、見通しも良い。駐車場も広く、家族など外来者は訪問しやすい。

○個人記録は簡潔に記録され、入居者個人の個性をしっかりと把握するだけでなく、諸々の事象について検討、対応し、常にサービスの質の向上に努めている。

○食後の歯磨きだけでなく、食前には口腔体操を行なっている。リハビリとして入居者の方は喜んで行っており、「医食同源、心身の健康は食より」のコンセプトが伺える。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

○ポータブルトイレ使用者の介助についてさらに検討を行えば、より快適なホーム生活が送れるのではと思う。

○入居者の意向かもしれないが、個室がオープンになっているところがあり、衝立を利用するなど少し工夫を加えれば入居者のプライバシー保持が一層進むものと思う。

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		○
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b> ○「自宅と変わらぬ環境」という観点から、本人の自宅での生活スタイルを重視して、出来ることは進んで出来る雰囲気をつくり、各々の能力を尊重して生かすように努めている。 ○個人記録は事務所の鍵のかかる戸棚に保管し、不要になった書類、メモなどはシュレッダーにかけて情報保全に万全を期している。 ○入居者個人のことは原則電話での応答はしない。また入居者への面会は、本人の了解を得てから行なっている。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b> ○運営規定には、採用後3ヶ月以内の採用時研修、年1回の継続研修を定め、加えて法人母体を中心とする月1回の研修にも参加して職員の資質の維持向上に努め、介護サービスの充実に努力している。 ○介護体験、ヒヤリハット事例を事実即して正確簡潔に記録することを徹底し、月1回法人本部で開かれる安全対策委員会で詳しく検討して、対策を立てるシステムを完備している。 ○要望や苦情については、入居者の立場を尊重し、面会時等によく話を聞き、問題解決に当たっている。		